

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.65

(平成26年7月～12月期)

三重県商工会議所連合会

桑名	商工	会	議	所
四日市	商工	会	議	所
鈴鹿	商工	会	議	所
亀山	商工	会	議	所
津	商工	会	議	所
松阪	商工	会	議	所
伊勢	商工	会	議	所
鳥羽	商工	会	議	所
上野	商工	会	議	所
名張	商工	会	議	所
尾鷲	商工	会	議	所
熊野	商工	会	議	所

はじめに（総括）

三重県商工会議所連合会では、県下 12 商工会議所合同で、地域の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび平成 26 年下期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県下の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、 $\Delta 27.0$ と平成 26 年上期に比べ 4.6 ポイント低下しており、前期に引き続き今期も悪化傾向となっております。

業種別の「現状」D I 値は、飲食業 $\Delta 19.6$ (前期 $\Delta 32.3$)、サービス業 $\Delta 34.1$ (前期 $\Delta 34.5$)が前期より改善しましたが、それ以外の業種で全体的に低下しており、卸売業 $\Delta 43.2$ (前期 $\Delta 24.8$)が前期より 18.4 ポイントと最も低下しました。他業種でも、製造業 $\Delta 19.4$ (前期 $\Delta 13.5$)、建設業 $\Delta 8.1$ (前期 2.7)、小売業 $\Delta 50.8$ (前期 $\Delta 46.8$)、交通運輸業 $\Delta 31.4$ (前期 $\Delta 26.5$)と、前回よりも悪化という結果になりました。

地区別の D I 値では、北勢地区 $\Delta 23.6$ (前期 $\Delta 16.8$)、中勢地区 $\Delta 22.6$ (前期 $\Delta 20.0$)、南勢地区 $\Delta 35.1$ (前期 $\Delta 33.3$)、伊賀地区 $\Delta 27.6$ (前期 $\Delta 23.9$)、東紀州地区 $\Delta 44.5$ (前期 $\Delta 43.0$)となりました。

今後の見通しでは、D I 値は $\Delta 32.1$ (前回 $\Delta 31.7$)となり、0.4 ポイントと若干の悪化となっております。地区別については中勢地区が 3.6 ポイント、南勢地区 9.4 ポイント、東紀州地区が 3.5 ポイント改善しましたが、北勢地区が 4.2 ポイント、伊賀地区が 9.4 ポイント悪化の見通しとなり地域差が感じられます。業種別では、製造業、建設業、飲食業を除く業種で改善となっています。

「売上状況」「利益状況」「販売条件」「仕入条件」の項目について前期よりも悪化傾向となっておりますが、「売上の見通し」のみ 0.3 ポイントの改善となりました。地区別においても、「売上状況」はすべての地区で悪化し、なかでも北勢地区は $\Delta 8.1$ ポイントと、大きく悪化しています。

景気の方角性を示す項目である設備投資は、「予定している」とした割合は、全体で 11.9% (前期 10.1%) と 1.8% 増加しました。業種別では、交通運輸業が 27.8% と他の業種よりも多く設備投資を行っており、卸売業が 8.2% と最も低い数値となりました。また、地区別では中勢地区が実績 17.8% と最も高く、予定では北勢地区が 13.6% と最も高くなっています。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 3.4 (前期 $\Delta 3.5$) と 6.9 ポイント改善し、業種別では交通運輸業以外で、地区別では東紀州地区以外で改善が見られました。

また、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 14.5% (前期 14.4%) と 0.1% 増加し、「使途予定」については“運転資金”の割合は 68.7% (前期 73.5%) で“設備資金”の割合は 29.1% (前期 23.5%) となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

平成 27 年 2 月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度D I 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県下商工会議所地域における景況	17
・ 調査票（写し）	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県下12商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地域の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔*1〕 県下商工会議所

桑名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴鹿商工会議所	中小企業相談所
亀山商工会議所	中小企業相談所
津商工会議所	中小企業相談所
松阪商工会議所	中小企業相談所
伊勢商工会議所	中小企業相談所
鳥羽商工会議所	中小企業相談所
上野商工会議所	中小企業相談所
名張商工会議所	中小企業相談所
尾鷲商工会議所	中小企業相談所
熊野商工会議所	中小企業相談所

〔*2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員5人以下、製造・建設・その他の業種については20人以下。（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔*3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山
中勢地区……津・松阪
南勢地区……伊勢・鳥羽
伊賀地区……上野・名張
東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県下12議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業9,933事業所を対象とした。回答状況は、回答率22.3%、回答企業2,224事業所であった。

3. 調査方法

FAXまたは郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

平成27年1月5日～1月16日

※当調査は、“1月～6月期”と“7月～12月期”の年2回、調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、伊勢・鳥羽・尾鷲・熊野の4商工会議所が担当した。なお、各商工会議所地域の景況は当該商工会議所が担当した。

DI値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

DIとは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合があります。

業種別・地区別回答状況

単位:企業 ():% 上:業種別構成率 下:地区別構成率

業種	地区	北勢				中勢			南勢			伊賀		東紀州			計			
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山	津	松阪	伊勢	鳥羽	上野	名張	尾鷲	熊野							
製造業	食料	46	15	16	12	3	28	9	19	11	7	4	6	4	2	14	11	3	105	
	せんい	6	0	4	1	1	1	0	1	1	0	1	9	9	0	1	1	0	18	
	機械	57	31	11	11	4	17	5	12	12	7	5	7	3	4	2	2	0	95	
	金属製品	69	38	8	19	4	12	5	7	12	7	5	6	3	3	1	1	0	100	
	木材	22	10	5	2	5	16	1	15	6	5	1	3	3	0	12	9	3	59	
	化学	8	2	4	1	1	5	3	2	1	1	0	3	1	2	0	0	0	17	
	窯業	5	1	3	1	0	2	1	1	2	2	0	0	0	0	2	1	1	11	
	印刷出版	9	4	0	4	1	13	7	6	5	5	0	3	0	3	3	1	2	33	
	その他	67	18	15	26	8	18	6	12	14	13	1	4	1	3	8	5	3	111	
計	289 (27.8) (52.6)	119	66	77	27	112 (21.5) (20.4)	37	75	64 (21.0) (11.7)	47	17	41 (22.7) (7.5)	24	17	43 (24.6) (7.8)	31	12	549 (24.7) (100.0)		
非製造業	卸売業	食料	16	10	3	2	1	8	5	3	4	4	0	4	2	2	5	4	1	37
		せんい	2	0	1	1	0	1	0	1	4	2	2	1	0	1	0	0	0	8
		その他	45	25	15	4	1	19	5	14	12	7	5	10	3	7	3	2	1	89
		(小計)	63	35	19	7	2	28	10	18	20	13	7	15	5	10	8	6	2	134
	小売業	せんい	25	15	3	4	3	29	13	16	13	11	2	6	3	3	19	11	8	92
		食料	29	15	2	6	6	15	4	11	10	6	4	9	3	6	11	6	5	74
		日用品	5	3	0	1	1	4	0	4	3	3	0	1	1	0	3	2	1	16
		電気製品	16	7	0	6	3	6	2	4	5	5	0	5	2	3	4	3	1	36
		その他	78	30	12	26	10	55	6	49	25	14	11	20	9	11	18	10	8	196
	(小計)	153	70	17	43	23	109	25	84	56	39	17	41	18	23	55	32	23	414	
	サービス業	美容・理容	22	7	6	6	3	12	3	9	2	1	1	5	1	4	7	5	2	48
		ホテル旅館	3	1	0	2	0	1	1	0	11	1	10	0	0	0	6	2	4	21
		自動車整備	27	11	4	9	3	19	4	15	11	9	2	7	3	4	5	3	2	69
		不動産	33	16	13	3	1	14	8	6	6	6	0	6	0	6	1	1	0	60
		その他	70	32	19	13	6	42	11	31	23	21	2	10	3	7	3	2	1	148
	(小計)	155	67	42	33	13	88	27	61	53	38	15	28	7	21	22	13	9	346	
	建設業	土木工事	47	10	10	25	2	16	5	11	11	8	3	9	2	7	6	6	0	89
		建築工事	100	33	26	33	8	41	16	25	31	24	7	12	5	7	14	8	6	198
		その他	118	29	44	35	10	60	36	24	29	26	3	10	3	7	3	3	0	220
		(小計)	265	72	80	93	20	117	57	60	71	58	13	31	10	21	23	17	6	507
	飲食業	56	13	17	22	4	24	4	20	27	13	14	8	6	2	13	10	3	128	
	交通運輸業	22	4	6	4	8	23	7	16	3	3	0	1	0	1	5	5	0	54	
	計	714 (68.6) (45.1)	261	181	202	70	389 (74.5) (24.6)	130	259	230 (75.4) (14.5)	164	66	124 (68.5) (7.8)	46	78	126 (72.0) (8.0)	83	43	1,583 (71.2) (100.0)	
その他	38 (3.7) (41.3)	5	18	10	5	21 (4.0) (22.8)	16	5	11 (3.6) (12.0)	8	3	16 (8.8) (17.4)	7	9	6 (3.4) (6.5)	5	1	92 (4.1) (100.1)		
合計	1,041 (100.0) (46.8)	385	265	289	102	522 (100.0) (23.5)	183	339	305 (100.0) (13.7)	219	86	181 (100.0) (8.1)	77	104	175 (100.0) (7.9)	119	56	2,224 (100.0) (100.1)		

1. 現状と今後の見通し

a) 現状（図－1・2・3参照）

全回答企業 2,224 事業所中、「良い・やや良い」が 19.1%、「変わらない」が 34.3%、「悪い・やや悪い」が 46.1%で、D I 値は△27.0（前回△22.4）となり前回より 4.6 ポイント悪化している。

業種別の D I 値では、小売業△50.8、卸売業△43.2、サービス業△34.1、交通運輸業△31.4、その他△20.2、飲食業△19.6、製造業△19.4、建設業△8.1の順となっている。

地区別の D I 値では、東紀州地区△44.5、南勢地区△35.1、伊賀地区△27.6、北勢地区△23.6、中勢地区△22.6であった。

図－1 現状について（業種別）

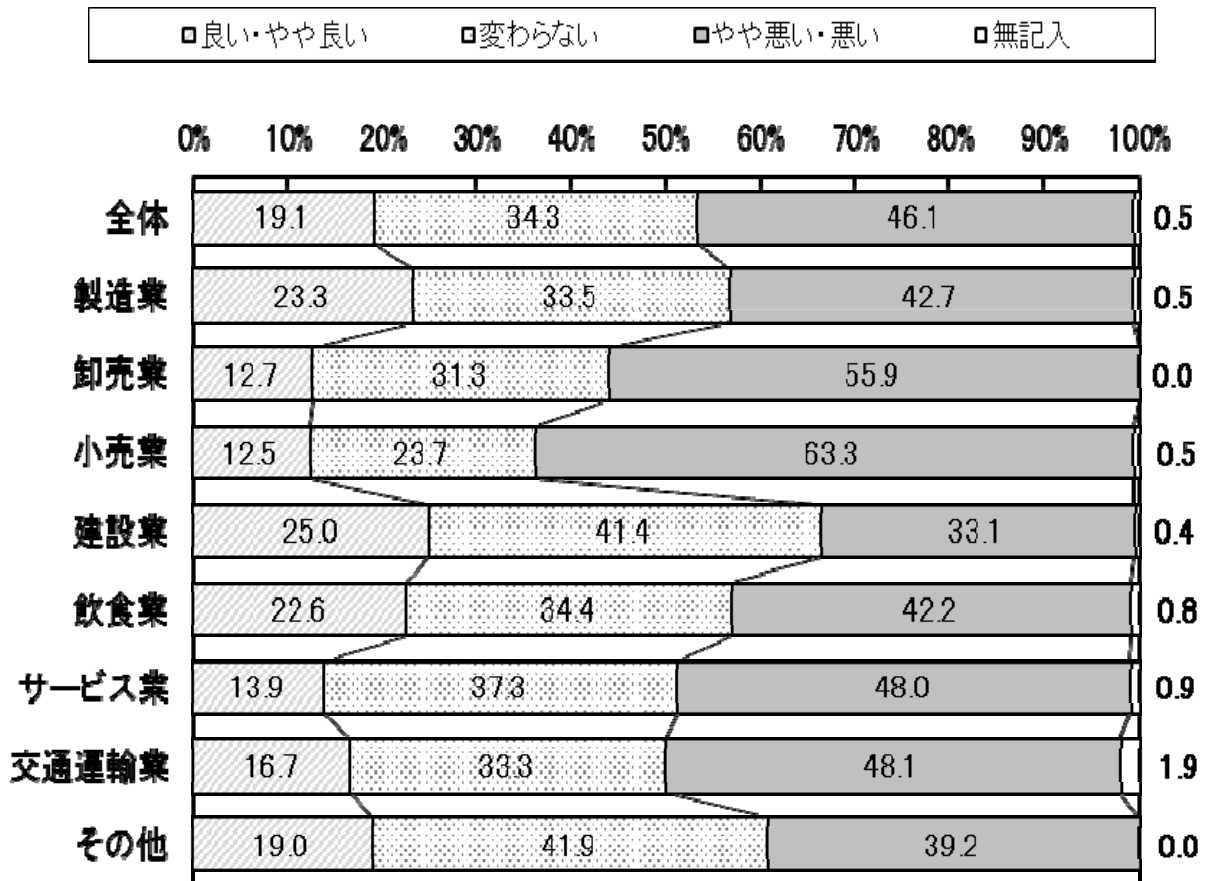


図-2 現状について（全体・地区別）

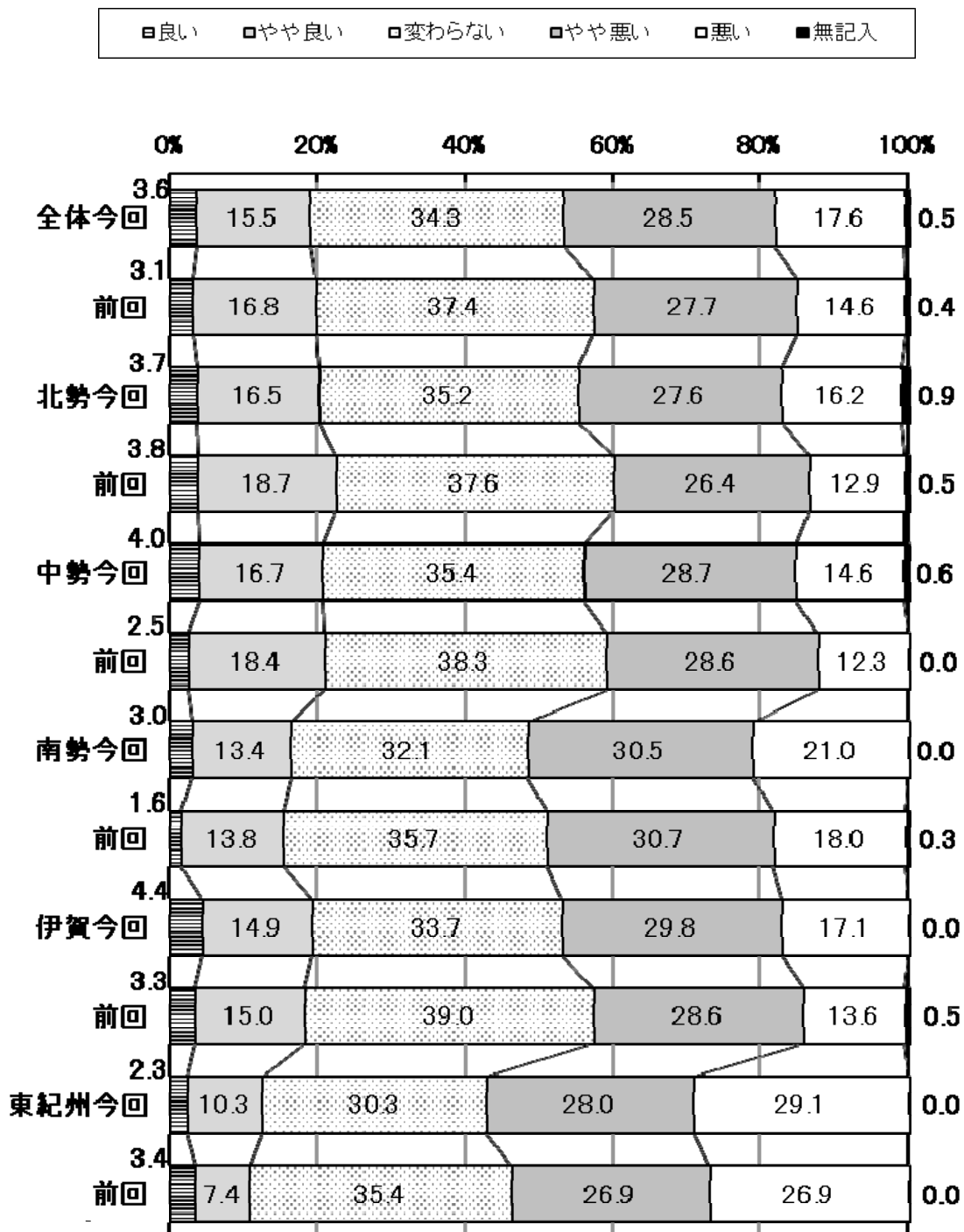
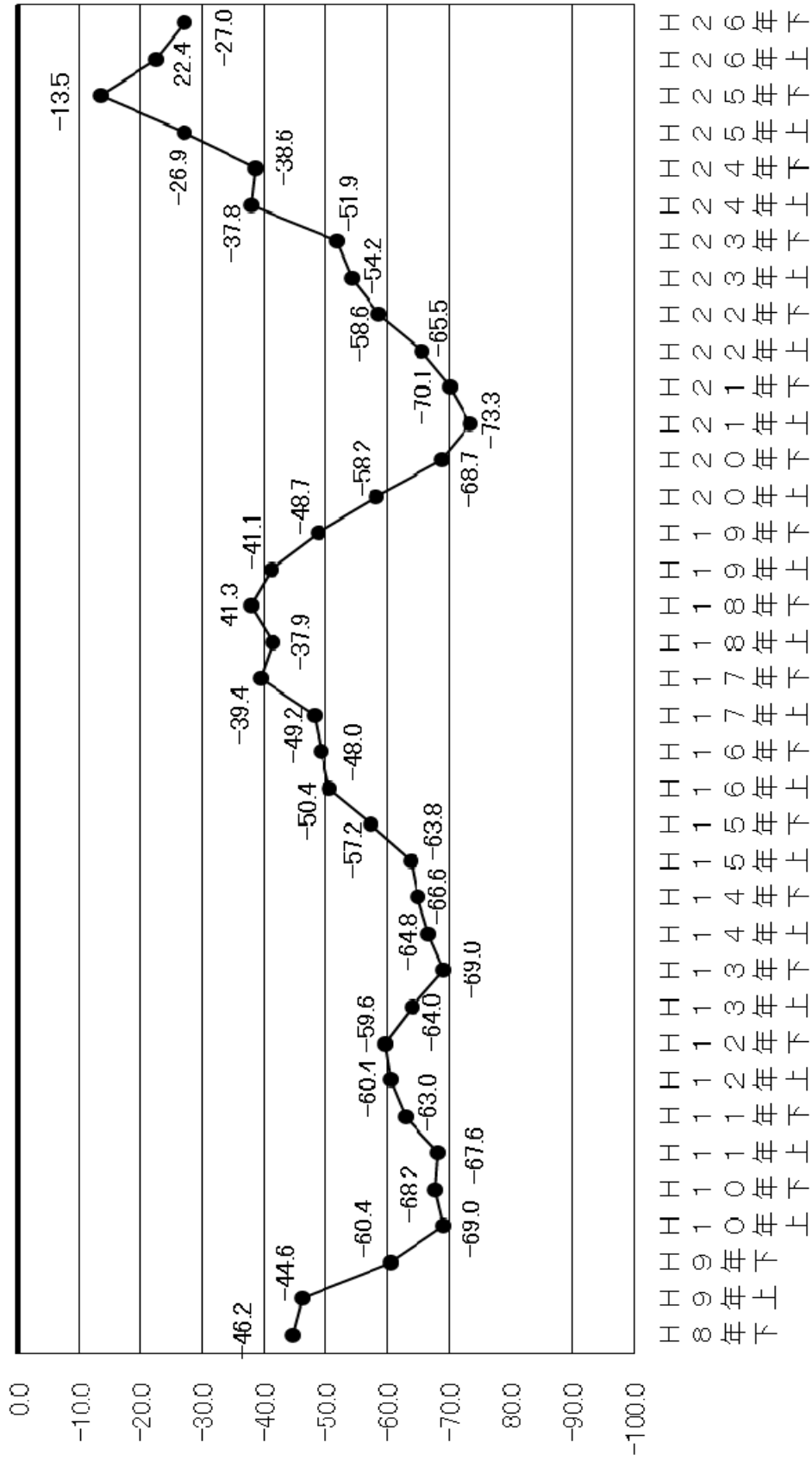


図-3 現況DI値の推移



注) H17 下期分までの値はBSI 値を2倍した数値で表示

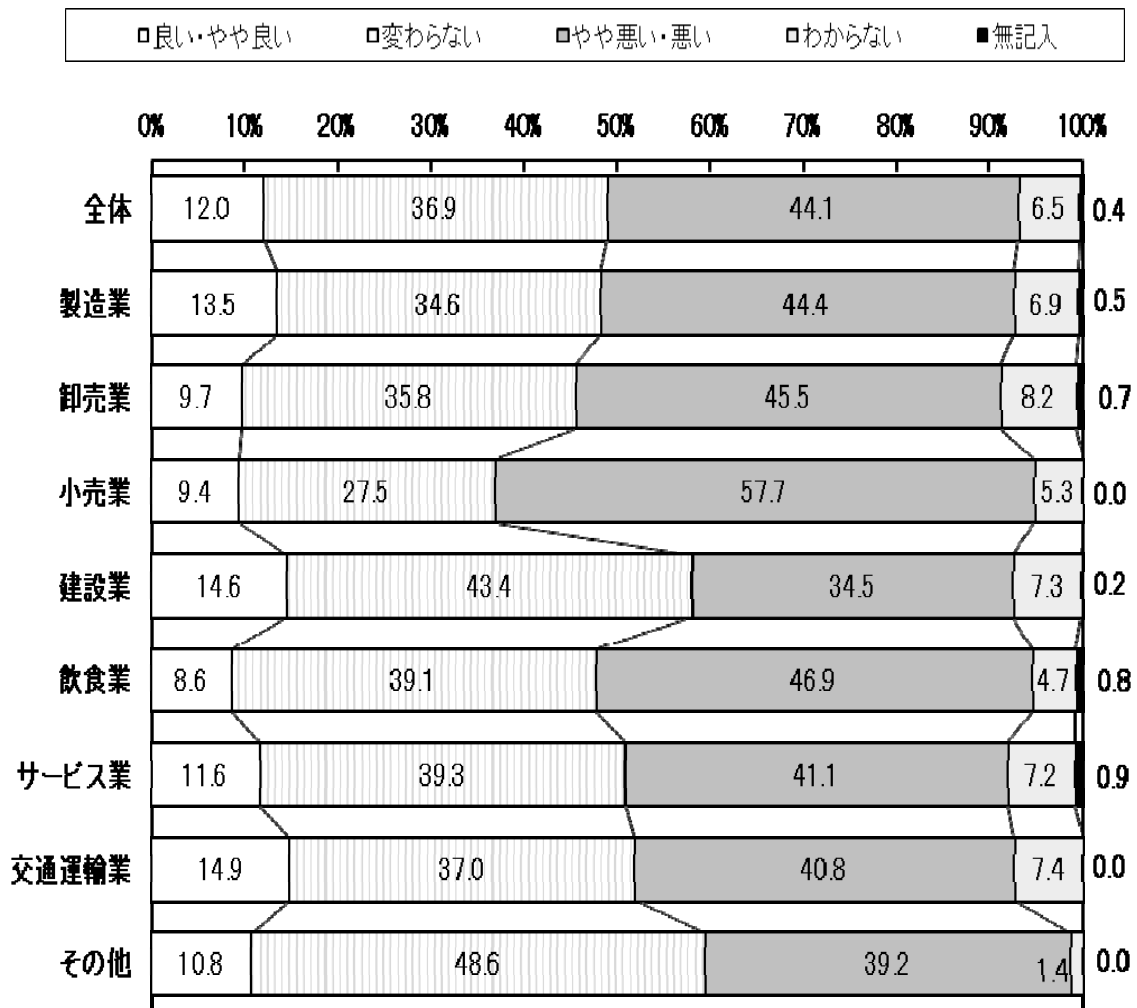
b) 見通し (図-4 参照)

全体の見通しでは、「良い・やや良い」が 12.0%、「悪い・やや悪い」は 44.1%で、D I 値は△32.1 (前回△31.7) となり、0.4 ポイントとほぼ横ばいとなった。

業種別では、D I 値で小売業△48.3、飲食業△38.3、卸売業△35.8、サービス業△29.5、交通運輸業△28.4、その他の業種△25.9、製造業△25.2、建設業△19.9 の順であった。

地区別のD I 値では、東紀州地区△44.5、伊賀地区△37.6、南勢地区△36.9、北勢地区△30.4、中勢地区△26.7 であった。

図-4 今後の見通しについて (業種別)



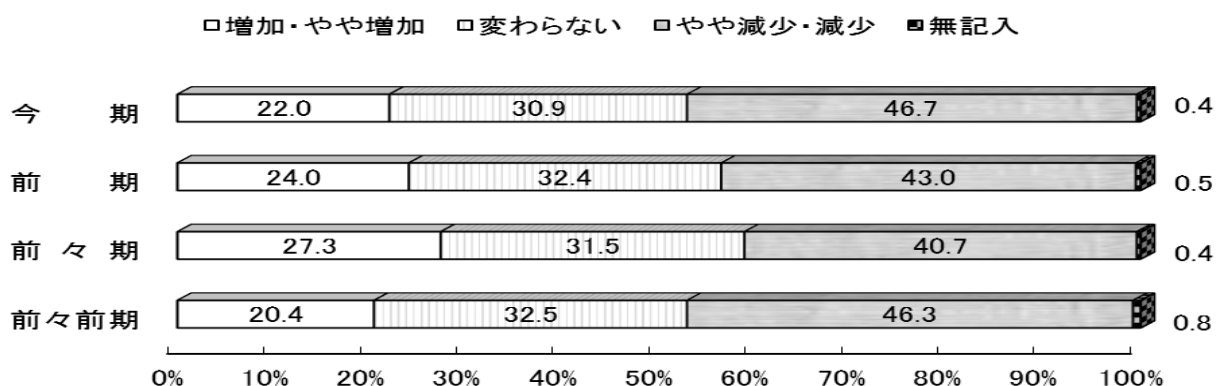
2. 最近の売上状況（図－5参照）

全体では、「増加・やや増加」が22.0%（前回24.0%）、「やや減少・減少」が46.7%（前回43.0%）で、D I 値は△24.7（前回△19.0）となり、5.7ポイント悪化した。

業種別では、飲食業14.6ポイント、サービス業で6.8ポイント改善が見られるが、それ以外の業種では悪化している。特に建設業15.8ポイント、卸売業13.2ポイント、交通運輸業11.3ポイントとそれぞれ悪化している。

地区別では、すべての地区で悪化が見られ、特に北勢地区で△22.4（前回△14.3）と8.1ポイントの悪化となった。

図-5 売上状況



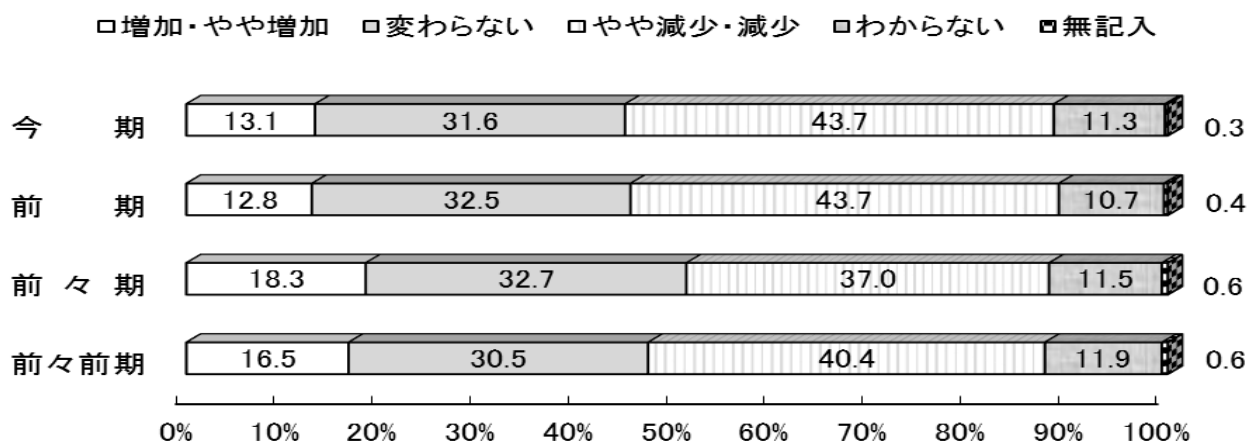
3. 今後の売上見通し（図－6参照）

全体では、「増加・やや増加」が13.1%（前回12.8%）、「やや減少・減少」が43.7%（前回43.7%）で、D I 値は△30.6（前回△30.9）となり、0.3ポイントとほぼ横ばいの見通しとなった。

業種別では、D I 値で小売業△44.5、卸売業△41.8、飲食業△32.0、その他の業種△31.0、サービス業△28.3、製造業△25.7、交通運輸業△24.0、建設業△23.1の順であった。

地区別のD I 値では、東紀州地区△41.8、伊賀地区△36.4、南勢地区△33.7、北勢地区△28.4、中勢地区△27.8であった。

図-6 売上見通し



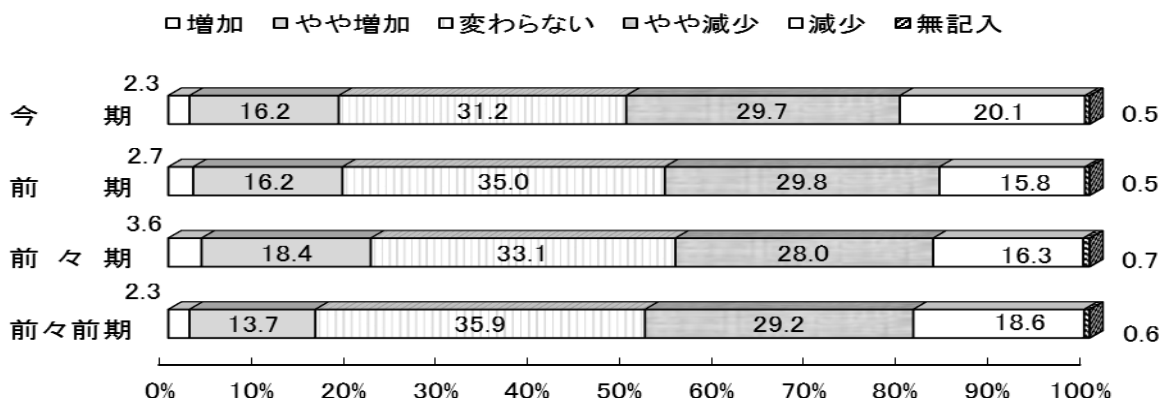
4. 利益状況 (図-7 参照)

全体では、「増加・やや増加」18.5% (前回 18.9%)、「やや減少・減少」が 49.8% (前回 45.6%) で、D I 値は△31.3 (前回△26.7) となり、4.6 ポイントの悪化となった。

業種別では、飲食業 13.6 ポイント、小売業で 0.5 ポイント改善が見られるが、それ以外の業種では悪化している。特に建設業 14.0 ポイント、交通運輸業 13.6 ポイント、卸売業 11.6 ポイントとそれぞれ悪化している。

地区別の D I 値では、東紀州地区△47.4、南勢地区△35.4、北勢地区△29.1、中勢地区△29.1、伊賀地区△27.7 であった。

図-7 利益状況



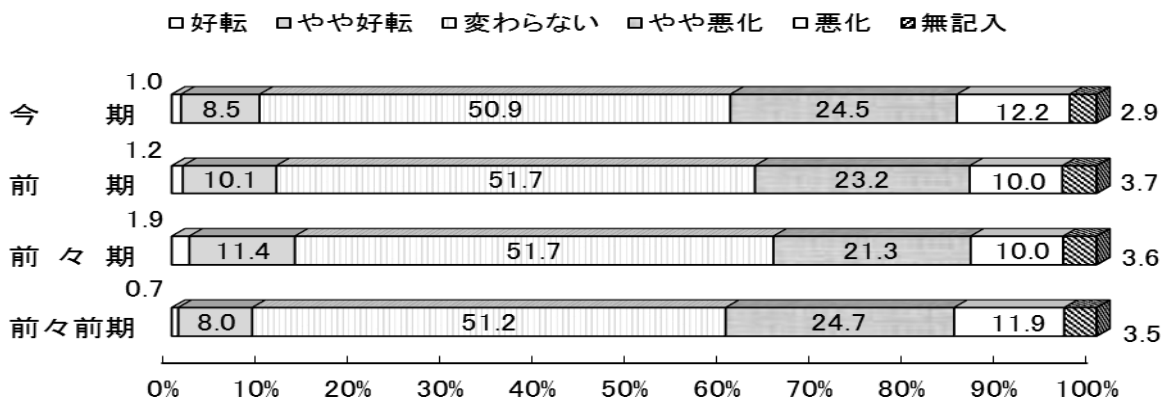
5. 販売条件 (図-8 参照)

全体では、「好転」、「やや好転」が 9.5% (前回 11.3%)、「やや悪化」、「悪化」は 36.7% (前回 33.2%) で、D I 値は△27.2 (前回△21.9) となり、5.3 ポイント悪化となった。

業種別では、その他の業種 4.1 ポイント、飲食業で 2.9 ポイント改善が見られるが、それ以外の業種では悪化している。特に交通運輸業 23.4 ポイント、卸売業 10.9 ポイント、建設業 10.5 ポイントとそれぞれ悪化している。

地区別では、伊賀地区 2.0 ポイント回復以外で悪化が見られ、特に北勢地区では 8.1 ポイント悪化した。

図-8 販売条件



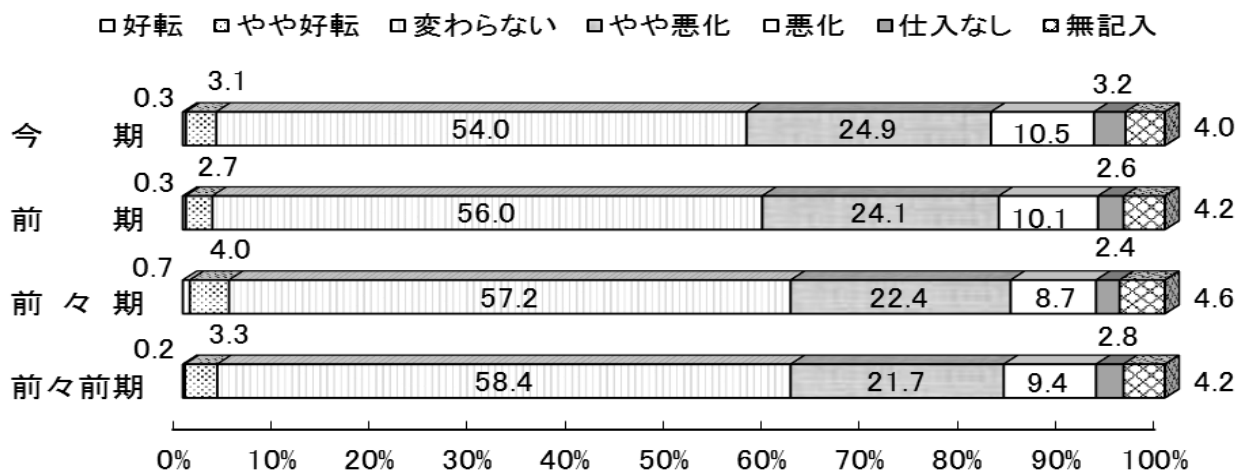
6. 仕入条件 (図-9 参照)

全体では「好転」、「やや好転」が 3.4% (前回 3.0%)、「やや悪化」、「悪化」は 35.4% (前回 34.2%) で、D I 値は△32.0% (前回△31.2%) となり、0.8 ポイントとほぼ横ばいとなった。

業種別では、D I 値で飲食業△53.2、製造業△35.3、小売業△35.0、卸売業△32.0、交通運輸業△27.8、その他の業種△27.0、建設業△27.0、サービス業△25.4 の順であった。

地区別の D I 値では、東紀州地区△43.4、南勢地区△33.1、北勢地区△33.0、伊賀地区△29.3、中勢地区△26.6 であった。

図-9 仕入条件



7. 設備投資 (図-10・11 参照)

全体では、設備投資を行った企業は 368 社、16.5% (前回 15.12%)、設備投資を予定している企業は 265 社、11.9% (前回 10.1%) とほぼ横ばいとなった。

業種別では、交通運輸業が 27.8% と他の業種よりも多く設備投資を行った。卸売業が 8.2% と最も低い数値であった。また、地区別では中勢地区が実績 17.8% と最も高く、予定では北勢地区が 13.6% と最も高くなっている。東紀州地区では実績 13.7%、予定 9.7% とともに最も低い値となっている。

図-10 設備投資の実績

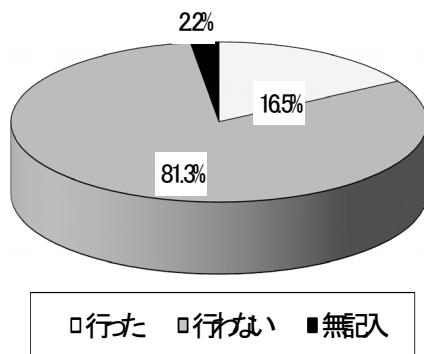
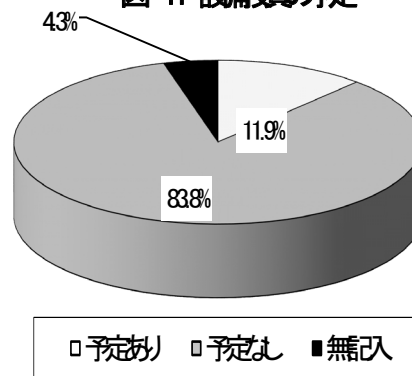


図-11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

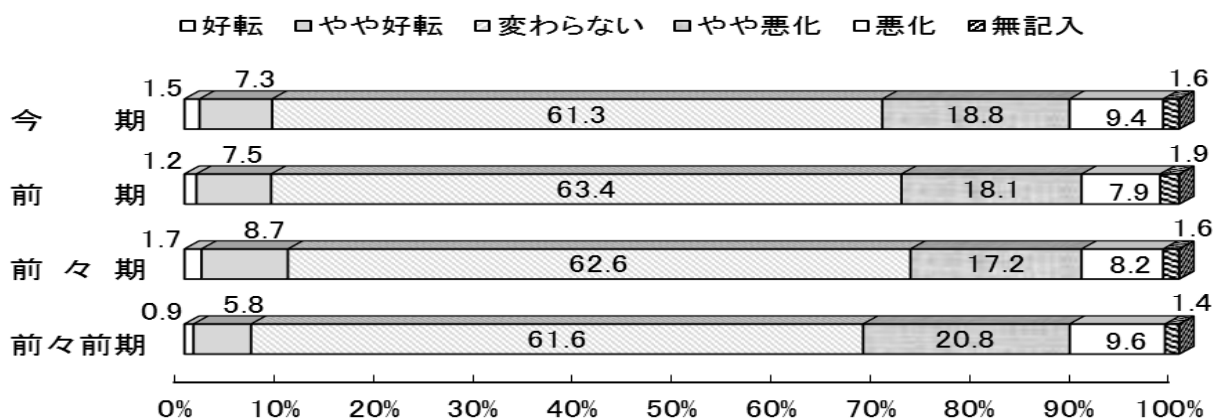
a) 現状 (図-12参照)

全体では「好転・やや好転」が8.8% (前回8.7%) に対し「悪化・やや悪化」は28.2% (前回26.0%) で、D I値は△19.4 (前回△17.3) となり2.1ポイント悪化した。

業種別D I値では、殆どどの業種で悪化していた。特に交通運輸業では、△29.6 (前回△18.4) で11.2ポイント悪化した。

地区別D I値では、南勢、東紀州地区が改善、北勢、中勢、伊賀地区が悪化した。

図-12 資金繰りの現状



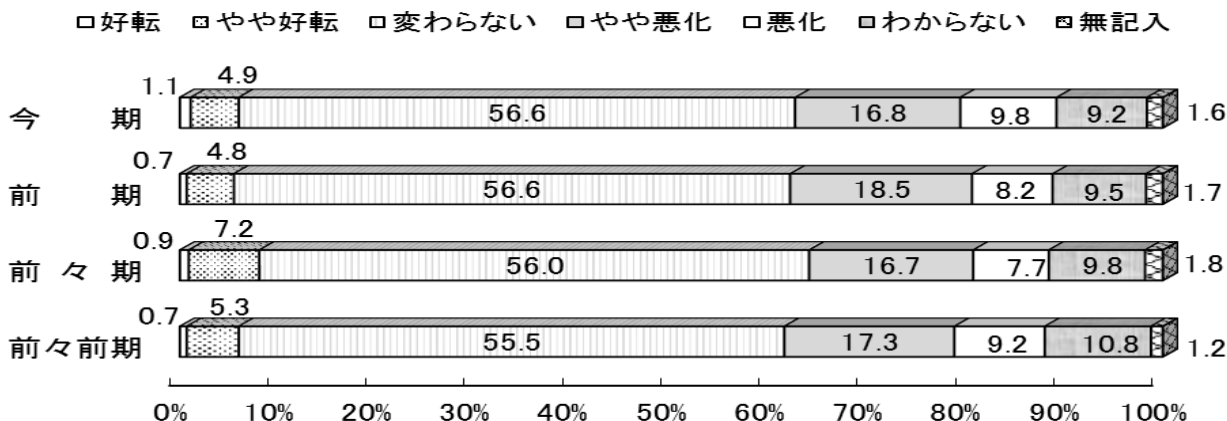
b) 見通し (図-13参照)

全体では「好転・やや好転」が6.0% (前回5.5%) に対し「悪化・やや悪化」は26.6% (前回26.7%) で、D I値は△20.6 (前回△21.2) となり0.6ポイント改善した。

業種別D I値では、不動産業が、△5.0 (前回△10.2) で5.2ポイント改善となったが、殆どどの業種で悪化となった。

地区別D I値では、伊賀地区が悪化、そのほかの地区では改善した。

図-13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,224 事業所のうち、借入を実施した企業は、944 事業所、42.4% (前回 1,020 社、39.7%) であった。

b) 借入の難易度 (図-14・15参照)

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 16.2% (前回 12.1%)、「困難」は 12.8% (前回 15.6%) で、D I 値は 3.4 (前回△3.5) となり、6.9 ポイント改善した。

業種別 D I 値では、建設業、卸売業、飲食業、その他の業種で改善した。また、地区別 D I 値では東紀州地区が悪化、そのほかの地区では改善した。

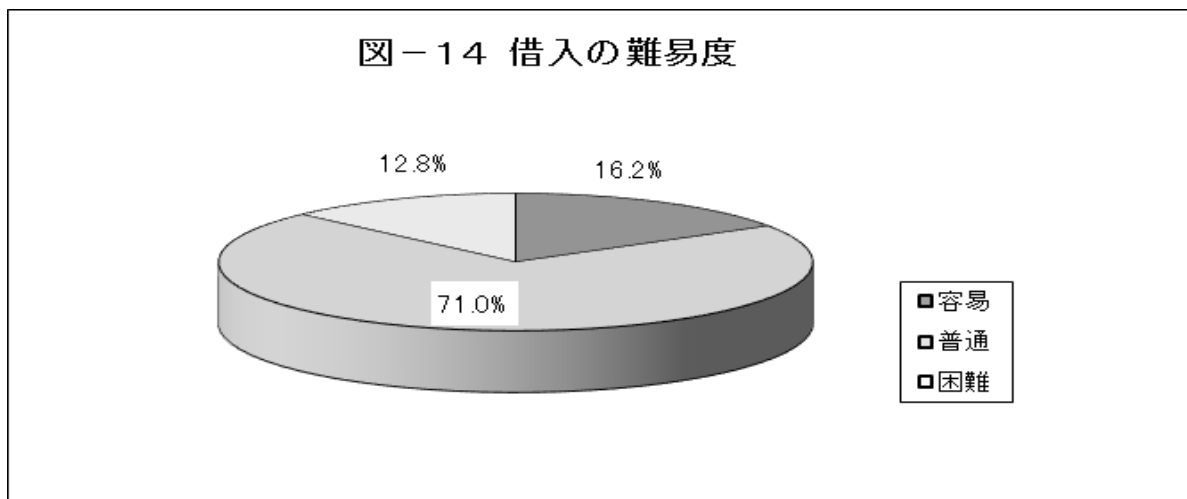
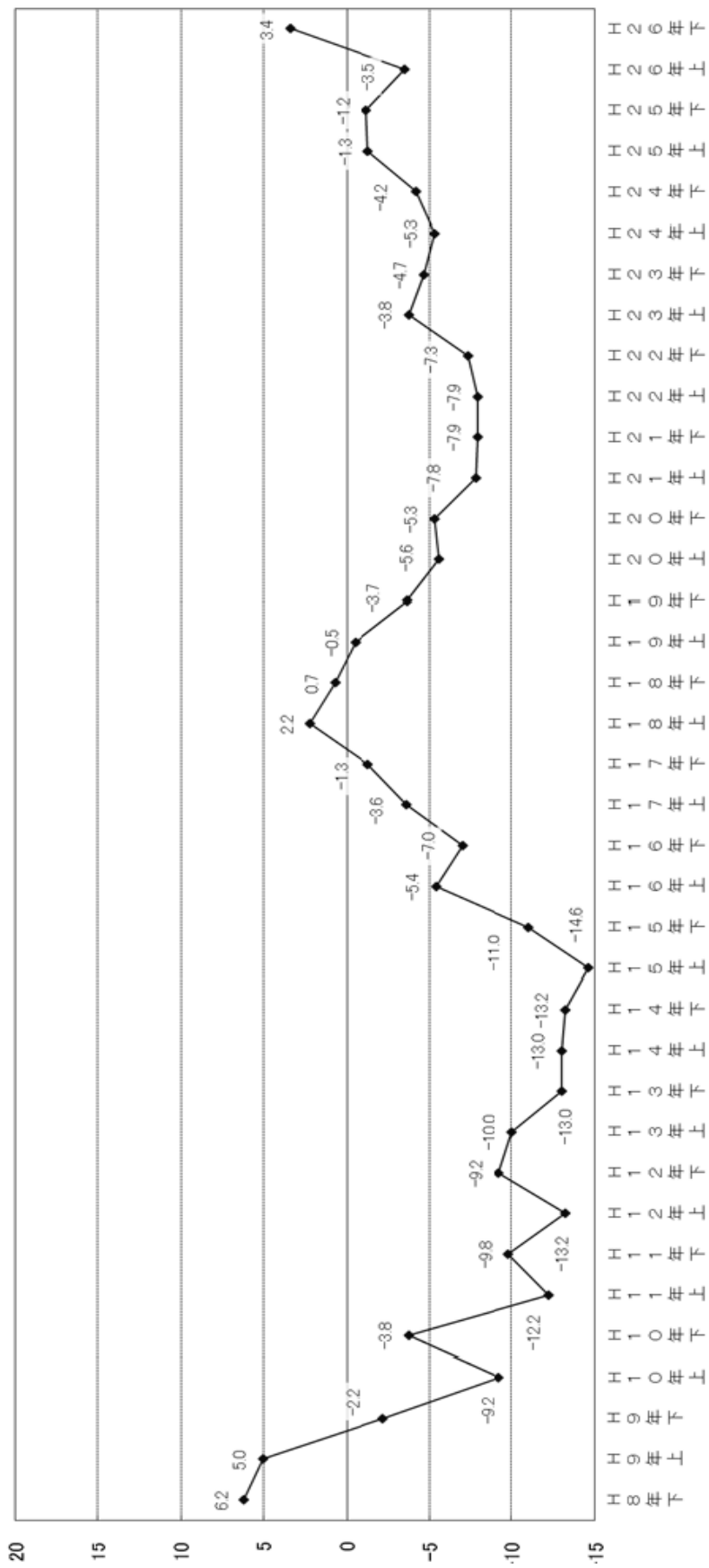


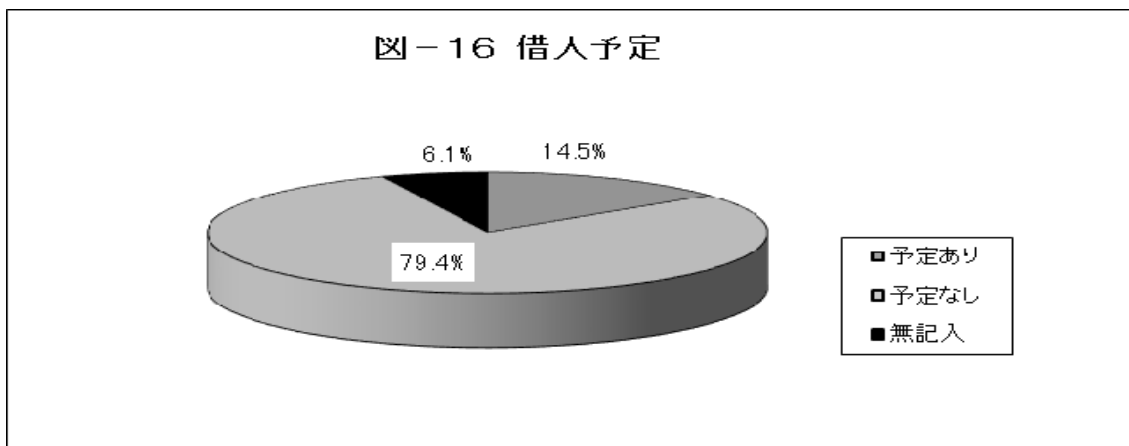
図-15 借入難易度DI値の推移



10. 借入予定（図－16参照）

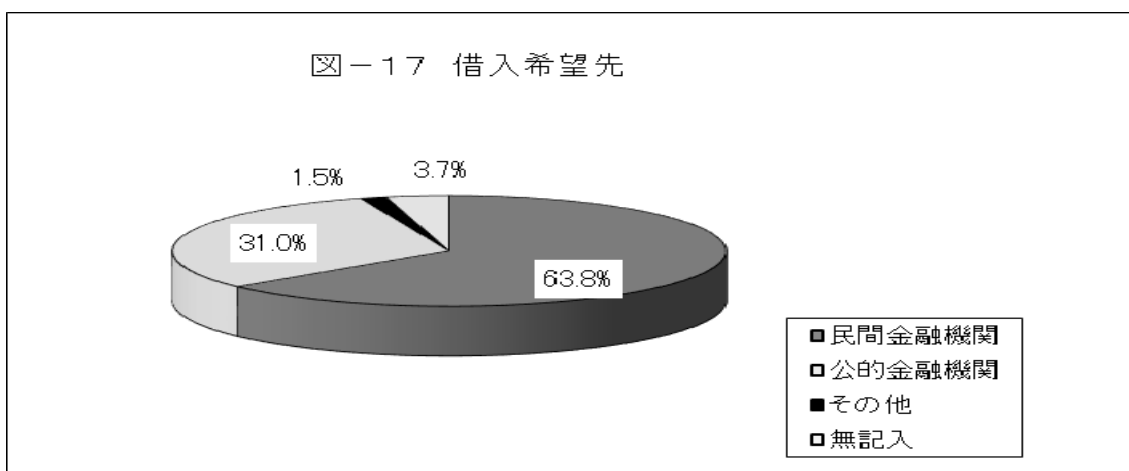
全体では、回答企業2,224事業所中、借入を予定している企業は323事業所、14.5%（前回14.4%）であった。

業種別でみると借入を予定しているのは、交通運輸業が22.2%と最も高く、小売業が9.4%と最も低かった。また地区別では、伊賀地区が17.7%と最も高く、南勢地区が11.5%と最も低かった。



11. 借入希望先（図－17参照）

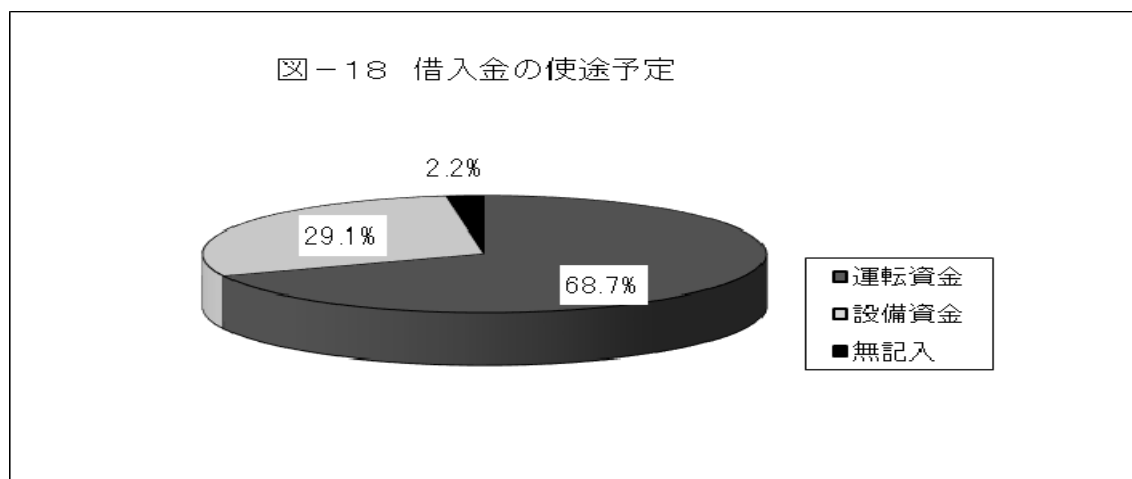
借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」は63.8%（前回63.2%）、「公的金融機関」は31.0%（前回29.5%）となった。



12. 借入金の使途予定（図－18 参照）

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が68.7%（前回73.5%）に対し、「設備資金」は29.1%（前回23.5%）であった。

業種別では、「運転資金」で卸売業が86.8%、「設備資金」で交通運輸業と58.3%とそれぞれ最も高かった。



13. 経営上の問題点（表－1 参照）

全体では、「売上・受注の停滞減少」48.7%（前回47.8%）、「競争激化」25.9%（前回26.5%）、「原材料高及び不足」18.3%（前回19.9%）の順となった。

業種別では、飲食業以外で「売上・受注の停滞減少」の回答が最も多く、飲食業では「原材料高及び不足」の回答が最も多かった。

業種別での2位の回答は、卸売業、小売業、サービス業では「競争激化」、製造業と飲業では「原材料高及び不足」、建設業、交通運輸業では「人手不足」、その他の業種では「人材育成」となり、業種によって回答に違いが見られた。

表－1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第 1 位	第 2 位	第 3 位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (51.7)	原材料高及び不足 (28.4)	設備店舗の狭小老朽化 (22.8)
	建 設 業	売上・受注の停滞減少 (42.4)	人手不足 (31.6)	人材育成 (27.8)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (59.7)	競争激化 (38.8)	原材料高及び不足 (24.6)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (60.9)	競争激化 (35.0)	製品・商品単価の下落 (16.2)
	飲 食 業	原材料高及び不足 (39.1)	売上・受注の停滞減少 (34.4)	人手不足 (26.6)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (46.2)	競争激化 (32.4)	設備店舗の狭小老朽化 (23.1)
	交通運輸業	売上・受注の停滞減少 (37.0)	人手不足 (35.2)	人件費以外の経費増加 (33.3)
	そ の 他	売上・受注の停滞減少 (28.4)	人材育成 (27.0)	競争激化 (17.6)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (46.1)	競争激化 (26.5)	人材育成 (22.3)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (49.8)	競争激化 (26.6)	原材料高及び不足 (19.9)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (52.1)	競争激化 (23.3)	原材料高及び不足 (21.0)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (47.5)	競争激化 (26.5)	原材料高及び不足 (20.4)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (56.6)	競争激化 (24.0)	製品・商品単価の下落 (17.7)
総 合		売上・受注の停滞減少 (48.7)	競争激化 (25.9)	原材料高及び不足 (18.3)

県下商工会議所地域の景況

○桑名商工会議所地域

現 状

景気の現状は「良い・やや良い」が19.5%（前回22.7%）、「変わらない」が33.5%（前回36.8%）、「やや悪い・悪い」が45.7%（前回39.6%）となった。D I値は△26.2（前回△16.9）となり、前回調査時に比べ9.3ポイント悪化という結果となった。

なお、前は建設業のD I値が17.8と全業種の中で唯一プラスの水準であったが、今回は△16.6と大きく落ち込む結果となったほか、小売業が△60.0（前回△46.3）、卸売業が△20.0（前回△8.1）など数値が悪化した。

一方で、製造業が△13.5（前回△13.8）、飲食業が△23.1（前回△24.2）となるなど前回の水準に留まる業種もあり、景況感がばらつく傾向が続いている。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が12.7%、「変わらない」が32.5%、「やや悪い・悪い」との回答は41.8%、D I値は△29.1（前回△26.2）となった。

前回調査時の見通しと現状のD I値はややマイナスとなり、今後の業況は悪化するという見通しである。

業種別に見ると建設業が△18.1と悪化見込みが続くほか、製造業が△32.7と大幅に悪化する見通しを示すなど、回答数の多い業種で悪化の見通しが出ている。

目立った変化等

今回の調査では前回唯一D I値がプラス水準であった建設業がマイナスに転じるなど全業種でマイナスの結果となった。また、全体の売上状況が△23.4（前回△13.1）となるなど前回と比較して売上が低下している状況が窺える。同様に販売条件も△27.8（前回△20.4）に悪化しており、これらが景況感の悪化に繋がっている状況が窺える。

○四日市商工会議所地域

現 状

「良い・やや良い」が18.1%（前回調査時は21.1%）「変わらない」が36.2%（前回調査時は39.0%）、「やや悪い・悪い」が44.5%（前回調査時は39.3%）との結果となった。現状D I値は△26.4で前回調査時の△18.2より、8.2ポイント低下した。

業種別に前回調査時値と比較すると、製造業、卸売業、サービス業、交通運輸業でD I値が低下し、なかでも卸売業についてはD I値が前回から29.3ポイント、サービス業については前回から17.2ポイントと大幅に低下した。小売業についてはD I値が前回より4.4ポイント上昇したものの、△47.0ポイントと低い値でとどまっている。

見 通 し

「良い・やや良い」が 13.9% 「変わらない」が 43.4%、「やや悪い・悪い」が 40.7%となり、D I 値は△26.8 で前回調査時の△26.6 より 0.2 ポイント低下した。

業種別に前回調査時の見通しDI 値と比較すると、製造業、建設業、小売業、サービス業のD I 値が低下した。特に小売業については△52.9 と非常に厳しい見通しとなっている。

目立った変化等

全体の景況感をはじめ、売上、利益、販売条件、仕入条件についても、全てのD I 値が前回調査時と比べて低下している。とりわけ、利益状況に関しては、D I 値が△35.4 で前回調査時と比べてマイナス 12.6 ポイントと大きく低下した。

経営上の問題点について見てみると、前回調査と同様に「売上・受注の停滞減少」(46.8%)、「競争激化」(27.2%)、「人材育成」(24.9%)の順で上位を占めた。

現状D I 値が大きく低下していた卸売業では、経営上の問題点についての質問では「売上・受注の停滞減少（卸売業の 78.9%が回答）」、「競争激化（68.4%が回答）」の2項目が高い回答割合であった。また次にD I 値が大きく低下していたサービス業、低い数値にとどまっている小売業でも「売上・受注の停滞減少」と、「競争激化」の回答割合がほかの選択肢と比べて非常に高かった。

このことから、卸売業・小売業・サービス業について、主に売上・受注の不振と競争の激化等により景況感が悪化傾向にあるという問題が浮き彫りとなった。

このような状況の要因については、自由記述欄に「消費税増税による受注減」などの回答があった。

一方、製造、建設業に目を向けると、製造業では「設備店舗の狭小老朽化（製造業の 27.3%が回答）」「原材料高及び不足（24.2%が回答）」の2項目が、建設業では「人手不足（建設業の 35.0%が回答）」の1項目が他業種よりも高い回答割合であった。

○鈴鹿商工会議所地区

現 状

対象 1,023 社 回答 289 社 回答率 28.3%。「良い・やや良い」と答えた企業が 22.9%（前回 23.4%：前年同期 28.1%）、「やや悪い・悪い」と答えた企業は 40.8%（前回 37.6%：前年同期 33.8%）となった。また、D I 値が△17.9（前回△14.2：前年同期△5.7）と前年同期より 12.2 ポイント悪化、前回より 3.7 ポイント悪化している。

業種別では、製造業D I 値△13.0（前回 5.4：前年同期 15.6）、建設業D I 値 0（前回 0：前年同期 10.3）、卸業D I 値△57.2（前回△14.3：前年同期△18.2）、小売業D I 値△48.9（前回△38.7：前年同期△45.3）、飲食業D I 値△13.6（前回△47.9：前年同期△43.7）、サービス業D I 値△36.4（前回△38.2：前年同期△25.0）となった。

見 通 し

「良い・やや良い」と答えた企業が 11.1% (前回 15.1% : 前年同期 19.0%)、「やや悪い・悪い」と答えた企業は 46.0% (前回 41.9% : 前年同期 39.0%) となった。また、D I 値が△34.9 (前回△26.8 : 前年同期△20.0) と前年同期より 14.9 ポイント悪化、前回より 8.1 ポイント悪化している。

業種別では、製造業 D I 値△27.3 (前回△10.9 : 前年同期△3.6)、建設業 D I 値△26.8 (前回△13.5 : 前年同期△7.4)、卸業 D I 値△57.1 (前回△50.1 : 前年同期△36.4)、小売業 D I 値△58.1 (前回△54.8 : 前年同期△52.9)、飲食業 D I 値△50.0 (前回△39.1 : 前年同期△43.8)、サービス業 D I 値△39.3 (前回△42.5 : 前年同期△36.3) となった。

売 上

「増加・やや増加」と答えた企業が 26.0% (前回 26.3% : 前年同期 30.5%)、「やや減少・減少」と答えた企業は 44.3% (前回 39.6% : 前年同期 38.4%) となった。また、D I 値が△18.3 (前回△13.3 : 前年同期△7.9) と前年同期より 10.4 ポイント悪化、前回より 5.0 ポイント悪化している。

利 益

「増加・やや増加」と答えた企業が 20.7% (前回 22.8% : 前年同期 26.9%)、「やや減少・減少」と答えた企業は 47.1% (前回 41.3% : 前年同期 39.3%) となった。また、D I 値が△26.4 (前回△18.5 : 前年同期△12.4) と前年同期より 14.0 ポイント悪化、前回より 7.9 ポイント悪化している。

目立った変化等

全体の D I 値において、現状・現状見通し・売上・利益の全ての項目で、前回調査時よりも悪化を示した。業種別で見ると飲食業は、全ての項目で改善の傾向が見られるが、それ以外の業種は、全ての項目で悪化となった。

D I 値悪化の要因としては、消費税率の引き上げ前の駆け込み需要による反動減はおさまったように見受けられるが、消費増税自体による影響がここに来てじわじわと表れたのではないかと推測される。消費者マインドの後退による買い控えや受注の停滞が今後も影響してくると予測されるため、見通しも悪化したのではないかと考えられる。

○亀山商工会議所地域

現 状

全体では、「良い・やや良い」が 20.6% (前年同期 23.8%)、「やや悪い・悪い」が 43.1% (前年同期 41.9%) となり、D I 値は△22.5 で、前年同期△18.1 より 4.4 ポイント悪化しており、前期△23.2 より 0.7 ポイント好転しているという結果となった。指標の推移については消費税増税等の諸要因からと考えられ、状況としては依然として厳しい現状であると言える。

業種別では、建設業・飲食業は悪化がみられたが、小売業・サービス業・交通運輸業では改善が見られた。

見 通 し

全体では、「良い・やや良い」が9.8%(前年同期19.0%)、「やや悪い・悪い」が41.2%(前年同期40.9%)となり、D I 値は△31.4で、前年同期△21.9より9.5ポイント悪化した。

業種別では、建設業では悪化の見通し、小売業・サービス業においては改善の見通しとなっている。

目立った変化等

「経営上困っている問題」として、従来と同様に「売上・受注の停滞減少」や「競争激化」等を挙げる割合が高いが、今回の調査において「人手不足」が年々増加しており、今回の調査においても高い水準となっている。このことから事業規模と人的規模の整合性を図れていない事業所が増加していることを示していると考えられる。

また、「今後の見通し」については、「良い・やや良い」と回答した事業所の割合は前年同期と比べて9.2%減少しており、今後について警戒感が高まっていると考えられる。

○津商工会議所地域

現 状

「良い・やや良い」が23.0%(前回27.1%：前年同期25.1%)、「やや悪い・悪い」が39.3%(前回34.6%：前年同期37.4%)、D I 値が△16.3(前回△7.5：前年同期△12.3)と前回より8.8ポイントマイナス幅が増加する結果となった。

業種別では前回D I 値と比較して製造業、建設業と卸売業で悪化が見られたが、小売業、サービス業で改善が見られた。中でも建設業は前回D I 値の14.5から今回D I 値の△8.8へ大幅な悪化が見られた。

見 通 し

「良い・やや良い」が14.7%(前回12.2%：前年同期15.9%)、「やや悪い・悪い」が41.5%(前回42.0%：前年同期38.5%)、D I 値は△26.8(前回△29.8：前年同期△22.6)と前回より3.0ポイントマイナス幅が減少する見通しとなっている。業種別ではサービス業では明るい見通しを示しており、3期連続の改善に加えて、来期の見通しも改善の兆しである。一方、製造業、建設業、卸売業、小売業で悪化見込みの数値を示している。

目立った変化等

経営上の問題点としては、「売上・受注の停滞減少」が最も多く53.0%となった。次いで「競争激化」25.7%、「原材料高及び不足」22.4%となった。「人手不足」は今回20.2%、前回20.2%と前々回17.4%と高い数値で横ばいが続いており、人材確保での課題が表面化していることが窺える。

業種別に見ると、製造業において「原材料高及び不足」は43.2%であり、全業種平均の22.4%と比較して高い割合を示している。また、建設業では「人手不足」は35.1%であり、全業種平均の20.2%と比較して高い割合を示している。

○松阪商工会議所地域

現 状

全体では「良い・やや良い」が 19.4%（前回 17.4%）、「やや悪い・悪い」が 45.4%（前回 44.4%）となり、D I 値は△26.0（前回△27.0）で、前回に比べ 1.0 ポイント改善している。

見 通 し

全体では「良い・やや良い」が 11.8%（前回 8.5%）、「やや悪い・悪い」が 38.3%（前回 39.1%）となり、D I 値は△26.5（前回△30.6%）で前回に比べ 4.1 ポイント改善の見通しとなっている。業種別では卸売業、飲食業を除く全ての業種で改善の見通しとなっている。

目立った変化等

経営上困っている問題点として、前回と同様「売上・受注の停滞減少」が 48.1%で最も多く、2位は「競争激化」27.1%、3位は「原材料高及び不足」18.6%という結果となった。

○伊勢商工会議所地域

現 状

全体では「良い・やや良い」が 18.8%（前回 15.5%）、「やや悪い・悪い」が 46.6%（前回 44.8%）、D I 値△27.8（前回△29.3）と前回に比べ 1.5 ポイントとほぼ横ばいである。

業種別では、前回に比べ卸売業で 38.4 ポイントと大きく悪化しているが、飲食業は 26.7 ポイントと大きく改善している。その他の業種については、ほぼ横ばいとなった。

見 通 し

全体では「良い・やや良い」が 15.1%（前回 8.2%）、「やや悪い・悪い」が 43.4%（前回 50.6%）、D I 値△28.3（前回△42.4）と前回より 14.1 ポイント改善している。

業種別では、卸売業で 19.2 ポイントと悪化の見通しであるが、その他の業種で改善の見通しである。中でも飲食業は前回に比べ 32.4 ポイント、建設業は 19.4 ポイント、サービス業は 15.8 ポイントと大きく改善している。

目立った変化等

経営上の問題点として、全体では前回に引き続き、「売上・受注の停滞減少」が 52.1 と最も多く、次いで「競争激化」24.7%、「原材料高及び不足」19.6%の順となっている。

業種別では、交通運輸業、飲食業で「原材料高及び不足」が第 1 位となっている。その他で目立った項目として、各業種で年々、「設備店舗の狭小老朽化」の割合が高くなってきている事が挙げられる。

○鳥羽商工会議所地域

現 状

全体では「良い」・「やや良い」があわせて10.5%、「やや悪い」・「悪い」があわせて63.9%、D I 値△53.4（前期△42.1）と前期よりも11.3ポイントと悪化している。業種別では小売業、サービス業の悪化が目立つ。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い」・「やや良い」との回答は4.7%、「やや悪い」・「悪い」の回答については64.0%。D I 値は△59.3（前期△54.5）で、前期より4.8ポイント悪化の見通し。業種別では建設業、小売業、サービス業で悪化の見通し。

目立った変化等

最近の売上状況については全体では「増加」・「やや増加」が11.7%、「やや減少」・「減少」が65.2%、D I 値△53.5（前期△35.5）となっている。

見通しについては全体では「増加」「やや増加」が4.7%、「やや減少」・「減少」が53.5%、D I 値△48.8（前期△39.7）と9.1ポイント悪化する見通し。

経営上困っている問題では、上位に「売上・受注の停滞減少」、「設備店舗の狭小老朽化」、「原材料高及び不足」が占めている。

○上野商工会議所地域

現 状

全体では、「良い・やや良い」が26.0%（前回15.9%）、「やや悪い・悪い」が45.5%（前回45.1%）、D I 値が△19.5（前回△29.2）で、前回に比べ9.7ポイントの改善をしている。

業種別のD I 値についても、製造業を中心にほぼすべての業種で数値の改善が見られたが、建設業は前回に比べマイナス25.4ポイントと大きく悪化している。

見 通 し

全体では、「良い・やや良い」が11.7%（前回11.0%）、「やや悪い・悪い」が49.4%（前回46.4%）で、D I 値は△37.7（前回△35.4）と前回に比べ2.3ポイント悪化している。

業種別では、卸売業、小売業が改善の見通しを示す一方、製造業、建設業、サービス業では悪化の見通しを示している。

目立った変化等

経営上困っている問題点としては、「売上・受注の停滞減少」が45.5%と最も多く、続いて2位が「原材料高及び不足」（28.6%）、3位が「競争激化」（22.1%）という結果で、上位3項目の並びは前回と同様であった。この他では、「人件費以外の経費増加」（19.5%）や「人手不足」（18.2%）という回答が製造業、建設業を中心に多く見られ、前回に比べ増加している。

○名張商工会議所地域

現 状

全体では「良い・やや良い」が14.4%、「やや悪い・悪い」が48.1%で、D I 値は△33.7（前回△20.6）となり、前回より13.7ポイント悪化した。

業種別に見ても、特に改善している業種は見られなかった。

見 通 し

全体では「良い・やや良い」が9.6%、「やや悪い・悪い」が47.2%で、D I 値は△37.6（前回△23.7）となり、前回より13.9ポイント悪化の見通しとなった。

現状と同じく、特に改善する見通しをしている業種は見られなかった。

目立った変化等

現状D I 値、見通しD I 値などほとんどのD I 値が前回より悪化しており、小規模事業所にとってはかなり経営的に厳しい様子がみられた。唯一D I 値が改善したのは販売条件だが、それも0.4%だけの改善なので全体的に悪化していることが顕著に現れている。

経営上困っている問題として「売上・受注の停滞減少」が49.0%（前回48.1%）で最も多く、次いで「競争激化」が29.8%（前回35.9%）で2位、設備店舗の狭小老朽化が15.4%で前回8位から3位に急浮上、原材料高及び不足が14.4%で4位、5位は人材育成で12.5%となった。

○尾鷲商工会議所地域

現 状

全体では、「良い・やや良い」が6.7%、「変わらない」が36.1%、「やや悪い・悪い」が57.1%、D I 値は△50.4（前回△47.1）と前回より3.3ポイント悪化している。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が7.5%、「変わらない」が34.5%、「やや悪い・悪い」との回答は58.0%、D I 値は△50.5（前回△52.0）となり、前回のD I 値と比べて1.5ポイント悪化している。

目立った変化等

経営上困っている問題点については、「売上・受注の停滞減少」との答えが前回よりも1.5%回復したが60.5%と相変わらず最も多かった。次いで、「競争激化」26.9%「製品・商品単価の下落」の順であった。その他目立った変化として業種別D I 値では建設業が△0.1（前回△22.2）となり22.1ポイント回復している。見通しにおいても「良い・やや良い」との回答が多くあり、背景には市外での受注が増えたことが考えられる。

小売業では高速道路延伸による顧客流出の問題が顕著に表れている。

○熊野商工会議所地域

現 状

「良い・やや良い」が 25.0% (前回 22.2%)、「悪い・やや悪い」が 57.1% (前回 55.6%) と 26 年度上期にくらべ「良い・やや良い」は改善したが、「悪い・やや悪い」が若干ではあるが悪化傾向にある。

D I 値は $\Delta 32.1$ (前回 $\Delta 33.4$) となり、改善傾向にある。

見 通 し

「良い・やや良い」が 12.5% (前回 9.3%)、「悪い・やや悪い」が 44.7% (前回 48.2%) と 26 年度上期にくらべ「良い・やや良い」、「悪い・やや悪い」共に若干ではあるが改善傾向となった。

D I 値も $\Delta 32.2$ (前回 $\Delta 38.9$) と若干の改善となった。

目立った変化等

今回の調査では、現状の「良い・やや良い」が改善、「悪い・やや悪い」の回答が若干改善したが、全体的にみると目立った変化はあまりみられない。

見通しでは「良い・やや良いが」、「悪い・やや悪い」共に若干改善したが、「良い」の回答がなく現状同様全体的にみるとあまり変化はみられない。

D I 値も現状、見通し共に若干改善が見られた。

○名張商工会議所地域

現 状

全体では「良い・やや良い」が14.4%、「やや悪い・悪い」が48.1%で、D I 値は△33.7（前回△20.6）となり、前回より13.7ポイント悪化した。

業種別に見ても、特に改善している業種は見られなかった。

見 通 し

全体では「良い・やや良い」が9.6%、「やや悪い・悪い」が47.2%で、D I 値は△37.6（前回△23.7）となり、前回より13.9ポイント悪化の見通しとなった。

現状と同じく、特に改善する見通しをしている業種は見られなかった。

目立った変化等

現状D I 値、見通しD I 値などほとんどのD I 値が前回より悪化しており、小規模事業所にとってはかなり経営的に厳しい様子がみられた。唯一D I 値が改善したのは販売条件だが、それも0.4%だけの改善なので全体的に悪化していることが顕著に現れている。

経営上困っている問題として「売上・受注の停滞減少」が49.0%（前回48.1%）で最も多く、次いで「競争激化」が29.8%（前回35.9%）で2位、設備店舗の狭小老朽化が15.4%で前回8位から3位に急浮上、原材料高及び不足が14.4%で4位、5位は人材育成で12.5%となった。

○尾鷲商工会議所地域

現 状

全体では、「良い・やや良い」が6.7%、「変わらない」が36.1%、「やや悪い・悪い」が57.1%、D I 値は△50.4（前回△47.1）と前回より3.3ポイント悪化している。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が7.5%、「変わらない」が34.5%、「やや悪い・悪い」との回答は58.0%、D I 値は△50.5（前回△52.0）となり、前回のD I 値と比べて1.5ポイント悪化している。

目立った変化等

経営上困っている問題点については、「売上・受注の停滞減少」との答えが前回よりも1.5%回復したが60.5%と相変わらず最も多かった。次いで、「競争激化」26.9%「製品・商品単価の下落」の順であった。その他目立った変化として業種別D I 値では建設業が△0.1（前回△22.2）となり22.1ポイント回復している。見通しにおいても「良い・やや良い」との回答が多くあり、背景には市外での受注が増えたことが考えられる。

小売業では高速道路延伸による顧客流出の問題が顕著に表れている。

○熊野商工会議所地域

現 状

「良い・やや良い」が 25.0% (前回 22.2%)、「悪い・やや悪い」が 57.1% (前回 55.6%) と 26 年度上期にくらべ「良い・やや良い」は改善したが、「悪い・やや悪い」が若干ではあるが悪化傾向にある。

D I 値は Δ 32.1 (前回 Δ 33.4) となり、改善傾向にある。

見 通 し

「良い・やや良い」が 12.5% (前回 9.3%)、「悪い・やや悪い」が 44.7% (前回 48.2%) と 26 年度上期にくらべ「良い・やや良い」、「悪い・やや悪い」共に若干ではあるが改善傾向となった。

D I 値も Δ 32.2 (前回 Δ 38.9) と若干の改善となった。

目立った変化等

今回の調査では、現状の「良い・やや良い」が改善、「悪い・やや悪い」の回答が若干改善したが、全体的にみると目立った変化はあまりみられない。

見通しでは「良い・やや良いが」、「悪い・やや悪い」共に若干改善したが、「良い」の回答がなく現状同様全体的にみるとあまり変化はみられない。

D I 値も現状、見通し共に若干改善が見られた。

景況調査票

平成27年1月

会議所	No.	コード

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1. 業種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉	1. 食料品	2. 繊維品	3. 機械製品	4. 金属製品	5. 木材木製品
	6. 化学製品	7. 土石窯業	8. 印刷・出版	9. その他	
〈建設業〉	10. 土木工事	11. 建築工事	12. その他		
〈卸売業〉	13. 食料品	14. 繊維・身の回り品	15. その他		
〈小売業〉	16. 繊維・身の回り品	17. 食料品	18. 家具・日用品	19. 電気製品	20. その他
〈飲食業〉	21. 飲食店				
〈サービス業〉	22. 美容・理容	23. ホテル・旅館	24. 自動車整備	25. 不動産	26. その他
〈交通運輸業〉	27. 交通運輸	〈その他〉	28. その他		

2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について

3. 現状について…平成26年7～12月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪	い	5. 悪	い
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

4. 今後の見通しについて…平成27年1～6月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪	い	5. 悪	い	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

5. 売上状況について…平成26年7～12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

6. 売上の見通しについて…平成27年1～6月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

7. 利益状況について…平成26年7～12月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

8. 販売状況(単価・決済方法)について…平成26年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成26年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. 仕入なし
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	---------

10. 設備投資について

26年7～12月の実績		27年1～6月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし

11. 資金繰りの現状について…平成26年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

12. 資金繰りの見通しについて…平成27年1～6月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

13. 借入の現状について…平成26年7～12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容易	2. 普通	3. 困難
-------	-------	-------

14. 借入予定はどうか…(平成27年1～6月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15. 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16. その他困っている問題・ご意見等があればご記入下さい。

()
ご協力ありがとうございました。